



平成26年 7月18日
桑名市
木曾川下流河川事務所

国土交通省城南河川防災ステーション・ 桑名市城南河川防災センター完成式の開催について

1. 概要

国土交通省城南河川防災ステーション・桑名市城南河川防災センターは、平成22年に整備を開始して以降、施設整備を進め、平成26年7月に完成しました。

施設の完成を記念するとともに、安全・安心な地域を支える施設として活用されることを祈念して、完成式を開催します。

2. 日時

平成26年7月27日（日） 9時00分～10時00分

※雨天決行、ただし桑名市に大雨警報発令時は中止

3. 場所

国土交通省城南河川防災ステーション・桑名市城南河川防災センター

（桑名市立田町地先）

4. 主催

桑名市
国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所

5. 出席予定者

国会議員、三重県議会議員、桑名市議会議員、桑名市長、
地元自治会代表者、地元関係団体、桑名市立城南小学校6年生、
国土交通省水管理・国土保全局治水課長、国土交通省中部地方整備局長 他

6. 次第

- 1) 式辞
- 2) 来賓挨拶
- 3) 施設概要説明
- 4) セレモニー 三重県防災ヘリコプター記念飛行（悪天候の場合は中止）
桑名市立城南小学校6年生より防災への思いの伝達
記念植樹

7. 配付資料

別紙（施設紹介パンフ）

8. 解禁

指定なし

9. 配布先

三重県政記者クラブ、桑名市政記者クラブ

【問合せ先】

○桑名市

市民安全部防災・危機管理課長 森下 誠（もりした まこと）

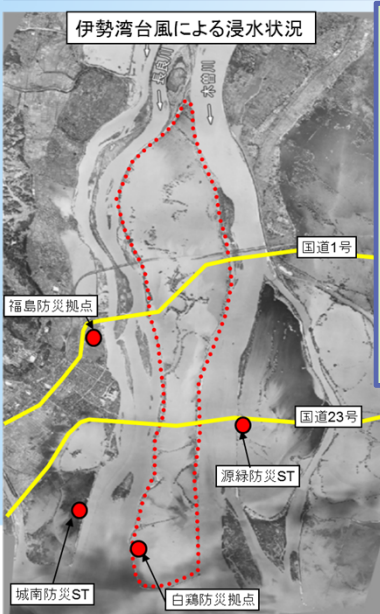
TEL 0594-24-1289 FAX 0594-24-2945

○国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所

工務課長 高橋 由典（たかはし よしのり）

TEL 0594-24-5714 FAX 0594-24-5727

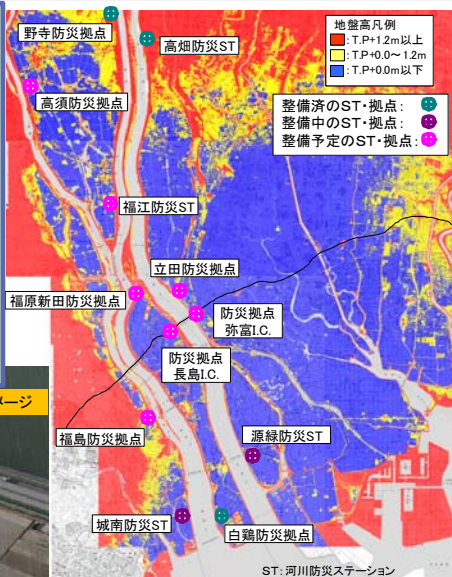
国土交通省城南河川防災ステーションの概要



木曾三川下流部は全国最大のゼロメートル地帯で、堤防が破堤した場合、浸水により甚大な被害をもたらします。

S34年9月の伊勢湾台風では至る所で堤防が破堤し甚大な被害が発生しました。

このため、破堤等の災害に対し、迅速に災害復旧作業を実施するため必要な資材の備蓄、および復旧作業の拠点となる施設の整備を実施しています。



国土交通省城南河川防災ステーション

国土交通省城南河川防災ステーションは、水防活動や緊急復旧活動を行う上で必要な土砂やブロックなどの資材を備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保するもので、洪水時には市町村の水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧を迅速に行う基地となります。



河川防災ステーションの活用イメージ



- 【災害時の活用】**
- ①緊急復旧用資材備蓄基地
 - ②災害対策車輛基地
 - ③車輛交換場所
 - ④ヘリポート
 - ⑤洪水時の現地対策本部
 - ⑥水防団の待機場所
 - ⑦水防倉庫
 - ⑧一般住民の避難場所

- 【平常時の活用】**
- ①コミュニティースペースとして地域に提供
 - ②水防活動の訓練等に利用
 - ③防災学習施設や川の情報発信拠点として防災センターを活用

【城南河川防災ステーションの概要】
 資機材の備蓄やヘリポート、水防活動スペース、車両回転スペース、防災センター（市）を整備し揖斐川右岸高潮区間の災害復旧活動拠点としての役割を担います。
 施設規模は堤防延長200mが1箇所破堤した場合を想定し、緊急復旧活動に必要な資機材を備蓄します。

【主な備蓄資材】	【施設】
・ 備蓄土砂 23,000m ³	・ 桑名市城南河川防災センター（桑名市）
・ 割石 6,300m ³	・ ヘリポート、車両回転スペース、水防活動スペース
・ 備蓄ブロック 720個(将来計画は1,300個備蓄予定)	など

【問合せ先】

城南河川防災センターに関すること	城南河川防災ステーションに関すること
桑名市 市民安全部 防災・危機管理課 TEL 0594-24-1289 FAX 0594-24-2945	国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 工務課 TEL 0594-24-5714 FAX 0594-24-5727

桑名市城南河川防災センター

桑名市城南河川防災センターは、防災に関する啓発、教育及び訓練の場として、さらに災害発生時の一時避難場所として活用するとともにコミュニティ活動の場として利用できる施設です。

施設の概要

住所	桑名市大字立田町267番地
構造	鉄骨造 平屋建
延べ面積	163.55㎡
用途	風水害時の活動拠点施設、災害時の一時避難場所
部屋面積	(1) 会議室 58.5㎡ (2) 和室(1・2) 23.8㎡ (3) 倉庫 21.1㎡ (4) 玄関・ホール 26.8㎡ (5) トイレ 21.8㎡ (6) 湯沸室・収納 7.8㎡

- 休館日 (1) 毎週月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日以降の最初の平日
(2) 12月29日から翌年1月3日まで

利用時間と利用区分（午前9時から午後9時まで）

利用区分	定員（人）	広さ（㎡）	利用時間			
			午前 （9時～12時）	午後 （13時～17時）	夜間 （18時～21時）	全日 （9時～21時）
会議室	36	58.5				
和室1	12	10.7				
和室2	12	13.1				

(1) 時間区分は、準備及び原状回復の時間を含む

(2) 冷暖房設備に係る使用料は無料

施設備品 折りたたみ椅子（75脚）、会議用テーブル（25台）、ホワイトボード（1台）、簡易テント（2張）、ポータブルワイヤレスアンプ（1台）、ワイヤレスマイク（2本）、ピンマイク（1本）

災害への備え

収容人数	70人程度
備蓄食料	カンパン（360食）、アルファ米（750食）
備蓄資機材	ポータブル発電機（LPガス対応）（2台）、LED投光機（3台）、ハロゲン投光機（2台）、延長ドラム（3個）、カセットコンロ（3台）、ガスボンベ（15本）、ライフジャケット（8個）、ブルーシート（10枚）、カラーコーン（10個）、カラーコーンウェイト（10個）、コーンパー（10本）、トラロープ（3巻）、メガホン（2個）
付帯設備	地震自動解除ボックス（防災ボックス）を設置



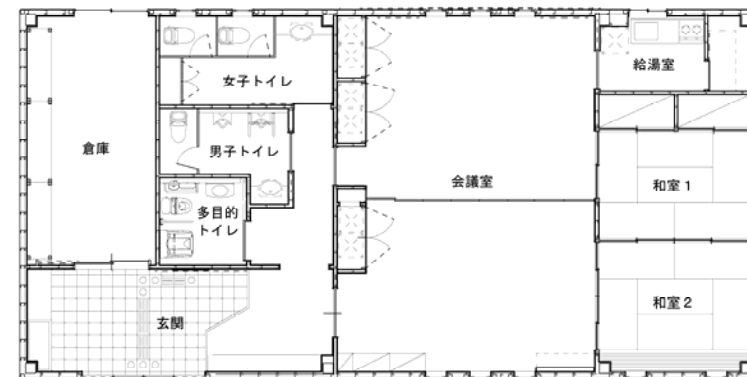
外観



会議室



和室



平面図